

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	3-7-1-1
事務事業名 児童扶養手当給付事業				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	子ども福祉課
	一般	01-030201001	細々目名	係等名	児童福祉係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施策	7	児童福祉の充実		
	基本事業名	1	児童福祉の総合的推進		

事業概要	離婚等により、父と生計を同じくしていない児童が育成されている家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童の養育者へ児童扶養手当を支給し、児童の福祉の増進を図る。				
実施内容	【支給額】前年度の本人・扶養義務者の所得額・扶養人数により決定（所得制限あり） 児童1人の場合 全額支給（月額）41,720円 一部支給（月額）9,850円～41,710円まで10円刻みの額 児童2人の場合 児童1人の額に5,000円を加算 児童3人以上の場合 3人目から児童1人増すごとに3,000円を加算				
根拠法令等	児童扶養手当法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	20 扶助費	79,823,330 円
	8 報償費	円	13 委託料	円	23 償還金利子及び割引料	227,670 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	80,051,000 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		18歳の年度末まで（心身に一定の障害がある場合は20歳未満）の児童を養育する母子家庭の母、母子家庭に準ずる世帯の母、母がいない場合に児童を養育する養育者	
手段（事業の具体的な内容、手順等）		活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標	指標 名称 児童扶養手当受給資格者数
児童扶養手当の申請受付（申請主義） 受給資格及び所得に応じた手当額の審査・決定 認定通知書・受給者証の交付 年3回（4・8・12月）に手当を支給 毎年8月に現況届を行い受給資格・支給額の審査			指標 (1) 式
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標	指標 名称 児童扶養手当受給者数
父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の経済的負担が軽減され、生活が安定する。			指標 (1) 式
			指標 名称 児童扶養手当受給率
			指標 (2) 式 児童扶養手当受給者数 / 児童扶養手当受給資格者数
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか			
児童扶養手当を支給することで、児童福祉の充実を図ることができる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度（実績）	年度（実績）	18年度（実績）	19年度（実績）	20年度（見込み）	年度（最終目標）
指標	活動指標（1）	人			223	225	
	活動指標（2）						
	成果指標（1）	人			202	205	
	成果指標（2）	%			90.6	91.1	
投入量	事業費	財源内訳	千円				
		国・県支出金	千円			26,765	27,758
		地方債	千円				
		その他	千円				
	一般財源	千円			53,286	55,518	
	事業費計（A）	千円			80,051	83,276	
職員数	人			0.4	0.4		
人件費	千円			8,373	8,373		
人件費計（B）	千円			3,349	3,349		
総事業費（A+B）	千円			83,400	86,625		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
合併により児童扶養手当に関する全ての事務が、県より移譲された。手当の支給主体が県から市となり、市の財政及び事務負担が大幅に増加した。また、離婚等により母子家庭が増加傾向にあるが、近年の社会情勢により就職も厳しく、経済的に困窮している方が増加しており、母子家庭等の自立を推進するための総合的な対策推進が求められている。
この事業に対して、関係者（市民・議会・事業対象者・利害関係人等）からどんな意見や要望が寄せられていますか？
手当の増額。所得制限限度額の緩和。特に扶養義務者による所得制限者から手当受給が可能となる範囲の拡大が求められている。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						